

幕張新都心モビリティコンソーシアム 自律移動モビリティ PT
(第 1 回) 議事要旨

時間： 2022 年 8 月 4 日(木) 10:00~12:00

場所： オンライン開催

出席： 株式会社 N T T ドコモ千葉支店

MS&AD インターリスク総研株式会社

京セラコミュニケーションシステム株式会社

京成バス株式会社

株式会社建設技術研究所

シャープ株式会社

双日株式会社

損害保険ジャパン株式会社

ダイナミックマップ基盤株式会社

株式会社ティアフォー

株式会社千葉ステーションビル

日本ペイント・インダストリアルコーティングス株式会社

三井住友海上火災保険株式会社

国立大学法人 千葉大学

千葉市

デロイト トーマツ コンサルティング合同会社

議題

- (1) 今年度の PT 目標
- (2) 今年度の自動運転バス取組みの方向性検討
 - ア. 損害保険ジャパン株式会社 昨年の自動運転バス実証結果および課題
 - イ. 千葉市 昨年度実証の結果を踏まえた今年度の方向性検討
 - ウ. 日本ペイント・インダストリアルコーティングス株式会社 自動運転車向けインフラ整備の事例
 - エ. 今年度取組みの方向性に関する検討 (グループワーク)
- (3) 今年度のサービスロボット取組みの方向性検討
 - ア. 京セラコミュニケーションシステム株式会社 昨年のサービスロボット実証結果および課題
 - イ. 事務局 昨年度実証の結果を踏まえた今年度の方向性
 - ウ. 今年度取組みの方向性に関する検討 (グループワーク)

配布資料

資料 1 第 1 回自律移動モビリティ PT

資料 2 2021 年度 自動運転社会実装サポート事業 報告書

資料 3 自己位置推定が難しいエリアでの弊社開発品活用のご提案（非公表）

資料 4 昨年のサービスロボット実証結果および課題

議事内容 () は発言者

1. 開会

2. 議題

(1) 今年度の PT 目標

■ 千葉市より資料 1 に沿って説明。

➤ PT の位置づけ及び目標

- 昨年度まで別の WG で検討していたが、今年度は自動運転とサービスロボットを集約し、1 つの PT 内での検討を実施する。
- 自動運転車については、26 年の実装に向けた技術やインフラ整備案の取り纏め、移動以外の付加価値を創出するサービスの検討を行う。
- サービスロボットについては、幕張新都心エリアのニーズの把握や自動運転と連携したインフラ整備案について検討する。

(2) 今年度の自動運転バス取組みの方向性検討

ア. 昨年の自動運転バス実証結果および課題

■ 損害保険ジャパン株式会社より資料 2 に沿って説明。

イ. 昨年度実証の結果を踏まえた今年度の方向性検討

■ 千葉市より資料 1 に沿って説明。

- 技術検証では、昨年度顕在化した課題の解決や、現在検討中のルートにおけるインフラ連携を見据え、前回より進歩した形での実証実験実施を目指す。
- サービス検証では、社会実装を見据えた自動運転に対する地域住民への受容性拡大を図る取組み実施を目指す。
- 自動運転関連のインフラについて、誰が整備し、誰が所有するのかという点において事務局として課題を感じている。
 - 上下分離の観点では、道路管理者である行政が担当すべきと考えられる。ただし、自動運転導入の初期段階である短期～中期的に誰が整備を行うかは未だ曖昧で、国としても結論が出ていない。

- 他自治体の実証・実装事例では、道路法 32 条で規定される「道路占用」申請によりインフラ整備が行われている。ただしこの形式で整備されたインフラは道路のものとならず、道路管理者からの拒否反応が強い。
- この後紹介する長崎県対馬市の事例では、道路法 24 条申請により、道路の整備は事業者がおこない、整備されたインフラは道路管理者の所有になる。この方法はインフラ整備の課題を解決する一手段となるのではないか。

ウ. 自動運転車向けインフラ整備の事例

- 日本ペイント・インダストリアルコーティングス株式会社より資料 3 に沿って説明。

エ. 今年度取組みの方向性に関する検討（グループワーク）

テーマ：今後の自動運転バス実証実験・社会実装に向けた、これまでの取組みで顕在化した課題解決の方向性について

- ワークシートを活用したグループワークを実施。

(3) 今年度のサービスロボット取組みの方向性検討

ア. 昨年のサービスロボット実証結果および課題

- 京セラコミュニケーションシステム株式会社より資料 4 に沿って説明。

イ. 昨年度実証の結果を踏まえた今年度の方向性

- 千葉市より資料 1 に沿って説明。
 - 幕張新都心エリアでの社会実装を見据えた技術検証、サービス検証を行う。
 - サービスロボットは除菌・清掃、運搬・配送、警備、移動販売など、分野が多岐にわたるので、その中でどのようなサービスに取り組むべきかを PT 内で検討する。また、サービスロボットによる既存サービスの置き換えと、新規サービスの立案という 2 つの視点も念頭に検討いただきたい。

ウ. 今年度取組みの方向性に関する検討（グループワーク）

テーマ：今年度の実証実験に向けた、理想のサービスロボットを活用したサービスのアイデア出し、および実証実験における検証項目

- ワークシートを活用したグループワークを実施。

3. 連絡事項

- 事務局より、第 2 回 PT 開催まで Slack を用いて継続的に意見交換、情報交換、交

流をしていく旨説明。

4. 閉会

以上